

Clinical outcomes in patients with ST-segment elevation myocardial infarction treated with everolimus-eluting stents versus bare-metal stents (EXAMINATION): 5-year results of a randomised trial.

Sabaté M, Brugaletta S, Cequier A, Iñiguez A, Serra A, Jiménez-Quevedo P, Mainar V, Campo G, Tsepili M, den Heijer P, Bethencourt A, Vazquez N, van Es GA, Backx B, Valgimigli M, Serruys PW. Lancet.2016 Jan 23;387(10016):357-66.

ST 上昇型急性心筋梗塞 (STEMI) に対する経皮的冠動脈インターベンションは標準的な治療である。さらに、新しい薬剤溶出性ステント (DES) が開発され、第一世代の DES で問題とされていたステント血栓症の問題は解決されつつあり、欧州のガイドラインでは STEMI に対しても薬剤溶出性ステントが推奨されている。本試験は第二世代の薬剤溶出性ステントである Xience V ステント (EES) と金属ステントの STEMI に対する長期成績を比較した試験である。

1054 例の STEMI 症例が EES 群と BMS 群に 1 : 1 に割り付けられ、そのうちそれぞれ 751 例、747 例が治療を受けた。それぞれ 97% が 5 年間追跡された。

Patient-oriented combined endpoint (総死亡、心筋梗塞、再血行再建) は EES 群で優れており、それは総死亡の有意な減少と、有意ではないが再血行再建の減少によるものであった。Device-oriented combined endpoint (心臓死、標的血管心筋梗塞、標的病変再血行再建) も EES 群ですぐれており、これは標的病変再血行再建の減少によるものであった。

新しい世代の薬剤溶出性ステントは急性心筋梗塞に対する標準的な治療となっている。今後生体吸収ステントを含めた第 3 世代のステントで同様の試験が行われるであろう。